

DTMF に関する CallManager の問題の Cisco Unity

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[問題](#)

[解決策](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、メッセージを通知するために公衆電話交換網 (PSTN) に電話したときに Cisco Unity ボイスメールがデュアル トーン多重周波数 (DTMF) を認識しない問題を解決する方法について説明します。

前提条件

要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

使用するコンポーネント

この文書に記載されている情報は Cisco Unified CallManager および Cisco Unity のすべてのバージョンに適用されます。

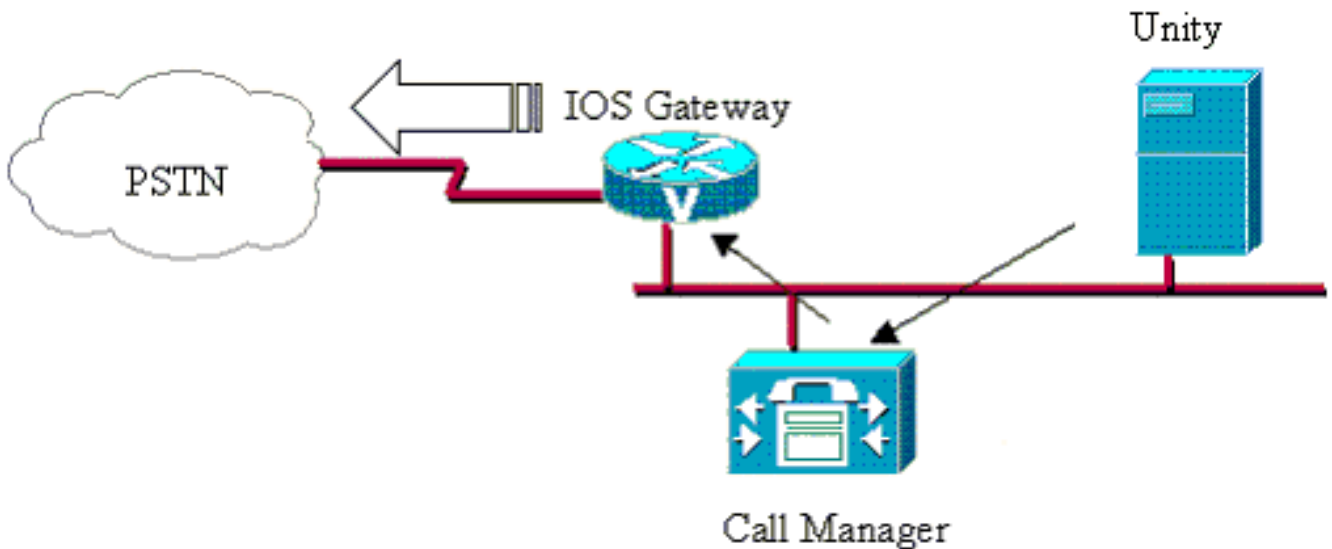
表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

問題

Cisco Unity はメッセージ通知のための PSTN の電話を呼出するとき、被呼加入者を DTMF によって情報を入力するためにプロンプト表示します。場合によっては、Cisco Unity は無応答があったように入るディジットを無視し、機能します。この現象が Cisco Unity であるけれども、問題は実際に不良なゲートウェイコンフィギュレーションです。、一般に PSTN からの Cisco Unity

に呼び出し存在するこの問題が正しく DTMF を検出する時。



解決策

PSTN からの Cisco Unity への呼び出しがコマンド `dtmf-relay h245-alphanumeric` を含む必要があるアウトバウンド VoIP ダイアルピアで一致することは必要です。Cisco Unity からの PSTN への呼び出しが同じゲートウェイを通過するとき、拡張によって設定される on Cisco Unity のボイスメールポートがあらゆる VOIPダイアルピアのデスティネーションパターンを一致する場合、ゲートウェイはダイアルピア 0 で代りに一致します。ダイアルピア 0 は非表示、`dtmf-relay` 有効にしてもらわないデフォルトダイアルピアです。着信 VOIPコールを強制することはダイアルピアに既存のダイアルピアで一致する、`dtmf-relay` 使用するためにコマンド `incoming called-number <#>` を追加します。一般に、このコマンドで参照されるダイアルストリングはコールより他のレグを構成する POTSダイアルピアからのデスティネーションパターンと同じです。たとえば、POTSダイアルピアのデスティネーションパターンが 9T なら、VOIPダイアルピアの `incoming called-number` は 9T であるはずで

```
dial-peer voice 1 pots
 destination-pattern 9T
 !--- The dial-string here is 9T.
direct-inward-dial port 0/0:23 ! dial-peer voice 2 voip
 destination-pattern 4... incoming called-number 9T !--- This dial-string matches the pots dial-peer 9T.
 session target ipv4:10.100.25.2 dtmf-relay h245-alphanumeric
```

注: リモートゲートウェイで Media Gateway Control Protocol (MGCP) を使用する場合、`dial-peer voice X voip` コマンドの下で `mgcp dtmf-relay voip` コーデックをすべてのモードアウトオブバンドコマンド設定したようにして下さい。

関連情報

- [Cisco IOS プラットフォームにおける着信および発信ダイアルピアの照合方法について](#)
- [音声に関する技術サポート](#)
- [音声とユニファイド コミュニケーションに関する製品サポート](#)
- [Cisco IP Telephony のトラブルシューティング](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)